

- ・追加・変更箇所は**赤字**で表記。改訂日付は最新のみを記載。
- ・このメモから、ご自身の必要箇所を楽譜に転記するなど有効活用して下さい。

初版 2024/06/11

改訂 2025/04/08

【The Golden Vanity】変更と注意事項

<曲を通じて>

- ・演奏方針：Moderato はマーチよりゆっくり目のテンポ。軽快に楽しいノリのため歌詞はきちんと歌う。
- ・曲想：3回の転調があり難しい曲なので、他パートをよく聞いてカチツとハーモニーを合わせる。
- ・途中で心折れず、最後まで歌いきって。

<全般事項>

- ・**8-9,18-19,28-29,38-41 (rit.の前まで)** 小節は勝手にスローダウンしがち。
指揮みて遅くならないように。
- ・文章の切れ目 (8小節 Low, Asの間) や単語の語尾を**ブツ切ったり流したりしない。**
気持ちは切らさずブレスは短く。「enemy」、32小節「he」などが目立つ。

★曲創り①音量メリハリをつける。

28小節～30小節3拍目まで特に小さく(T1T2はp、B1B2はmp)。

30小節4拍目から「f」。立ち上がりから全開で。

38小節～最後：クレッシェンド、デクレッシェンドの記号(指揮)に応じて強弱をつける。

- ・T1 高音域は全力シャウトより、綺麗な軽快さが吉。いい意味で抜く感覚。
- ・8分音符×2(タタ)と付点8分+16分音符(パ〜ツカ：跳ねる感じ)を譜面通り使い分ける。
- ・ストーリーを表現するため歌詞をきちんと歌う。ただし一語一句しゃべりすぎると重くなるので加減して。
- ・しゃべるが縦は崩さない。特に、landのようなロングトーンや、seaのような閉口音(狭くなりがち)はちよつとでも横に広がると耳について悪目立ちする。**★これらこそ、オペラチック。**
その際、音符の粒を立ててエッジ効かせること(流れるような歌い方ではない)。

・単語の発音：

ship はシッフ (ʃɪp)。(シープ ʃi:p は羊)。

Spanish enemy は明瞭に発声。enemy は 'enəmi (エナミー) エネミーではない。

Golden Vanity 固有名詞、楽曲のタイトルでもあるのでしっかりと聴衆に伝わるよう。

5小節 fear'd は「フィアド」フェアドではない。

33小節「swam along」は8分音符にきちんと歌詞を乗せる「すわー/あむ/あ/ろーんぐ」。

- ・8分音符で刻む箇所は、拍の頭（表）を強く揃える。そうすれば**走らない**し、英語っぽく聞こえる（15小節のアクセントの例：I would swim a-long side of the）。
- ・不協和音（19小節3拍目のT2「G」とB1「F」、27小節の「F」と「E」）は、きれいにぶつける。
- ・7,17,27,37小節の「land」のフェルマータはしっかり伸ばす（ラーアーアーン）で素早くプレス。
- ・pの表記を意識するよりも「はっきり楽しく元気よく」歌うことを優先（pでも音量は小さくしない）。

<個別事項>

(A) ここで聴衆のここをつかむ重要な出だし。きちんとそろえてオペラチックに。

- ・B2 7小節までをB1パートを歌う。
- ・6小節 4拍目～は「**As she sail'd**」。後半「**And sink her**」と混同しない。
- ・8小節（以降18,28,38,40も同じ）T1T2は半拍遅れ（ン Low-land）できちんと入る。
この入りがコンマ何秒か遅れる。B1B2を聞いて入るのはよいが、じっくり聞きすぎると遅れる。
- ・10小節 全パート seaのフェルマータが息切れしないように豊かに伸ばして。

(B)

- ・B1B2 歌詞読みに集中して走らないように。
- ・B1B2 10小節（Cから）Fに正しく上がるように（低くならないように意識）。
- ・B1B2 11-17小節 発音を縦にキープ（13小節 captain など）。
- ・B2 メロディの低音こそ頑張る（12,16小節「D」など）、でも伸ばしすぎない。
- ・14小節 B1B2 4拍目の「If」は4分音符で意外に長いので突っ込まないように。
1拍目「would you」は、跳ねるリズムで、「ウーッデュ」。「ウージュ」ではない。
- ・16小節の and（アーアンド）は、8分音符×2（跳ねない）。
4拍の歌詞は「And」。6小節の「As she」と混同しない。
- ・17小節 B1B2 3拍目の「Low」は、次の小節の和音につながる音。音程を丁寧に縦の口で。
- ・18小節 T1T2 Low-land Low,And のLowとAndはつなげず切る（他小節も同様）。
転調後の最初の入りなので、転調していることを意識して音に注意。
B1B2 出づらい低音域ほど、喉仏を下げ口腔を大きく開けないと響いた声が出てこない。
T1 頭の音「C」は、17小節 B1B2 の4拍目のオクターブ上。
B1B2 のメロディのオクターブ上を口ずさんでいれば取りやすいかも。

(C) 雰囲気が変わるセクション

- ・全パート エッジを効かせマルカートの感じで勇壮感を出して（Captainがboyに言っている歌詞）。

歌詞の立ち上がりの食いつきも悪いしテンポも遅い。

・全パート ブレス前の音符がブツ切れ（22 小節 gold が「ゴ、」など）。ギリギリまで伸ばして素早くブレス。

- ・B2 22 小節 3 拍目は「D」ではなく「B」。4 拍目 譜面通り E \flat →F（C→E \flat ではない）。
- ・T1 24 小節 2～3 拍（C→E \flat →F）は単独だと難しいが、メロディを聞くと合わせやすいかも。
- ・T2 22 小節 4 拍～24 小節 3 拍 音程を正確に。

23 小節 2 拍裏は「F」に下がる。細かい動きだが、こうしたところを大切にすることが重要。

24 小節 2 拍裏と 3 拍が B1 と高低逆転している。（T2「G,F」、B1「B,A」）

- ・B1 24 小節 2 拍裏と 3 拍が T2 と高低逆転している。（T2「G,F」、B1「B,A」）
3 拍目「be」の A の音は下がりすぎないように。

- ・26 小節 全パート 4 拍目 And は、跳ねているのに注意。（16 小節は跳ねてない）

T1T2 4 拍目 And 「E F」の「F」が上がり切っていない

・T2B1 27 小節 3 拍目～ B1「E」とT2「F」がぶつかっているのでつられず互いにしっかり主張して。

B1 27-28 小節で抜かずにしっかりと出す。

- ・B1 28 小節～30 小節 3 拍 F→G→F→ \flat E→F（land は \flat E に下がる）。
- ・T1 29 小節 G→F→E \flat →D→C→C。（3 拍目 C は E \flat に行きたい感じだが、C に下がる。

（これは複数回指摘：うろ覚え、聞き覚え、パターンではなく、譜面通りに歌うことが重要。）

- ・T2 29 小節 「Low の B」は前の「the」と同じ音
- ・B2 29 小節 上の「E」の音量がもう少しあった方がよい（人数の割り振りは大丈夫？）

(D)

- ・全パート 歌詞の立ち上がりの食いつきも悪いしテンポも遅い。

終盤のハモが厚くなるセクション、いい加減だとかっこ悪い。流さずしっかりと音程とリズムを刻む。

- ・T2B1 内声 2 パートでかっちりしたハーモニーになっている。互いによく聞いて寄り添って。
- ・30～34 小節は結構複雑なので、各パートがしっかりと音程をキープすることが重要になる。
- ・T2 32 小節 1,2 拍目が消えがち。自信もって。
- ・B1 32 小節 4 拍目「And he」は B2 とユニゾン。

33 小節の 1 拍目（C）は T1T2 と同じ音。前の小節から幅広く飛ぶが上がり切っていない。高めを意識して出す。B2 の「A」に行かないように。

- ・B2 33 小節 1 拍・2 拍の 8 分音符 4 つは音程をクリアに刻む（曖昧にしない）。

★特に 2 拍の裏は「♮ E」。「♭ E」に下がりすぎないように。

・34 小節 3 拍目の 4 分音符は原則譜面通り。

4 拍目の 8 分休符は、「無音を演奏する」メリハリをつける。（休符は「休み」ではない）

直前の enemy は伸ばしすぎない。

B1 34 小節 1,2 拍目「F」は取りづらいかもしれないが、B2 と同じ音。

・35 小節～36 小節の 2 拍目まですべて 8 分音符、跳ねない。間違うと超目立つので。。

・36 小節 「side he bored holes three」の発音は難しい。慣れるまではカナで対応。

・T2B1 37 小節 「her in」 → ダラッと流さずハ・ア イ・イン と、16 分音符できちんと表現する。

・38 小節～ 譜面では、遠ざかっていく雰囲気音量の変化で表現（mp p < > の記号）。

まずは、譜面の指示をきちんと理解。ただ、この通りに演奏するか否かは曲作りを通じて決めていく。

・38-39 小節 T1T2 まったりテンポが遅れる。高音なので気持ちはわかるが、遅れないで。

・T1 38 小節～は大きな音よりも、きれいに、を意識して。

・B2 38～42 小節 上パート、音はあっているのでしっかり響かせて。

下パートは喉を締めて「L」を発音することより、大きく開けてガンガン響かすことを優先して全集中。

・T1 39 小節 1 拍目は「♭ A」意外に高くない（前の he「G」の隣の音）。

・39,41 小節 T1T2 sank her は、サンク ハー。（サンカー ではない）。

T1 3 拍目は前と同じ「♭ E」。D に下がらないよう。